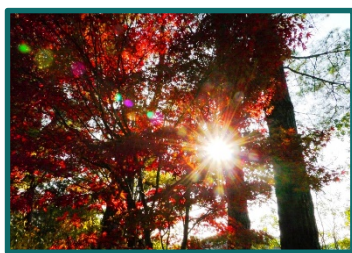


第22回 全国特別支援学校文化祭 作品出展

第22回全国特別支援学校文化祭の全国審査の「写真部門」に中学部2年生田原慶大さんの写真、「造形・美術部門」に高等部1年生 光井亮太さんと高等部3年生 真田くるみさんの絵画が、岡山県推薦作品（各県各部門2点以内）として選定され、出展されました。

全国審査では、真田くるみさんの絵画が、知的障害教育校長会長賞を受賞され、2月にりそな銀行東京本店に展示されます。出展した作品を紹介します。



『俺の木漏れ日』

田原 慶大



『みんな笑顔で』

光井 亮太



『Night Time』

真田 くるみ

食育の取り組み（小学部）

小学3、4年生の児童を対象に「冬至」について学びました。冬至についての説明の後、かぼちゃのパンケーキをクラスみんなで作る活動をしました。調理活動では、児童みんなが“やってみたい”という意欲に満ち溢れていました。卵を割る、かきまぜる、お玉を使う、フライがえしを使うといった活動が初めての児童もいましたが、集中して取り組んでいました。

そして、完成したかぼちゃパンケーキをものすごい勢いで食べる姿に、教員の顔もほころび、温かい気持ちになりました。

卵割りは
ほくほくさせて！



ほかほかの
ホットケーキ
おいしー！



まあいい
ホットケーキに
なあれ！



そーっと
ひっくりかえすよー



～歯・口の健康について～日本学校歯科医会会長賞受賞～

本校の歯科保健の取り組みが認められ、平成 27 年 10 月 29 日第 54 回全国学校歯科保健優良校表彰において、日本学校歯科医会会長賞を受賞しました。この賞は学校歯科保健の最高位である文部科学大臣賞に続く賞で、全国からの応募のうち特別支援学校では本校のみの受賞でした。

本校では学校歯科医の指導により、学校全体で歯みがきの合い言葉を決めています。そして、合い言葉をスローガンに 5 年前から全校での歯・口の健康教育に取り組んできました。

児童生徒の成長・発達の道筋は様々ですが、個人の課題に応じた指導を、学部を超えて継続的に取り組むことを大切にしています。そうすることで、入学時は歯ブラシを口に入れることに抵抗があった児童も徐々に慣れて、卒業時には、給食後の歯みがきも自らすすんで取り組めるようになっていきます。

毎日の歯みがきで継続して歯ブラシを使うことは、手指の発達にもつながります。また、歯みがきで口腔内に刺激を与え清潔を保つことで、言葉がはっきり話せるようになったり、食べこぼしが減ったりするなど、口腔機能の発達も促されます。このように、歯・口の健康を単にむし歯や歯周疾患の予防と捉えるだけでなく、児童生徒の総合的な発達を促す支援として継続することが大切であると考えています。

今後も、児童生徒自身が将来に向けて健康的な生活が送れるように、支援していきたいと思えます。

西支援学校 歯みがきの合い言葉

えんぴつ持ちで



こちょこちょみがき



全部の歯をみがこう



小学部は岡山県歯科衛生士会の歯科衛生士さんと、丁寧な歯みがきについての学習をしました。



中学部 3 年生の、学校歯科医の洲脇先生との学習の様子です。

